焼山地区に集落開発センターが完成

焼山地区は、昨年十月末、村から旧冬季分校跡の用地の提供をうけて、集落開発センターを建設し、各種研修会、集会等地域住民の交流の場として盛んに利用され、喜ばれている。

焼山集落開発センターは、木造平屋建て一〇三平方㍍、総工費六三五万円で、県農林水産業振興事業補助金三〇〇万円、村補助金三〇万円をうけて完成したもの。

焼山地区は、大正十三年阿賀野川の改修工事によって沢海地区と分断され、横越村の飛地となっている。戸数三四戸で、焼山地区に拓けた農地一三〇㌶は、対岸の沢海地区の農家とともに、ながいも、キャベツ、里いも、チューリップなどのそ菜、園芸の産地化がすすめられ、新潟都市近郊の重要な野菜供給地帯となっているほか、酪農経営が盛んなところ。

近年、焼山地区では、農免道路、集落道路、集落排水、宅地排水処理施設等の集落環境も整備されており、今後は集落開発センターを核として地域農業の生産力増進と生活改善、そして地域住民の生活の場である地区の生活環境づくり、地域コミュニティーづくり、人づくり等総合的な地域づくりの推進が期待される。

旧冬季分校跡に完成した集落開発センター

消費者の体験談…ひっこし…

昨年県消費協会で消費者教育の第一歩としての「家庭における消費のしつけ」というテーマで、消費者の体験談を収録した「ゆずりは」という雑誌をつくりました。人の胸を打つようなすばらしい体験談が載っています。その中から一つ紹介しましょう。

昨年の春、大阪の大学を卒業した娘が、東京へ引越しました。大家さんの挨拶と荷物の整理の手伝いをかねて、私も上京しました。

娘が自分で造ったという荷物、これにはびっくりしてしまいました。どれも私が大阪へ荷物を送った時のダンボール箱に詰められ、ひもから縄からみんな再利用品ばかりでした。

「あら、お母さんのまねよ！」娘は照れくさそうに笑っていました。

大学へ入学した時、机、椅子、本箱をそろえました。みんな分解可能な物ばかりでした。引越しを考えての買い物だったわけです。

食器類はひとつひとつちり紙に包み、お菓子の空箱にきちんと詰められていました。

もちろん一枚の破損もありませんでした。運送屋さんの手にかかったのは、娘がアルバイトして買った冷蔵庫だけでした。

「この冷蔵庫、お嫁入りが決まりかけたのよ。でも自分で働いて買ったものだから、手離したくなかったの」

楽しそうに冷蔵庫のなわをほどいていました。明治生まれの姑、里の母、ともに物をだいじにする人たちでした。包装紙、お菓子の箱、ひもなど、たたんだり輪にしたりしてしまっておくのです。靴下や下着類から、上着、ズボンまでだいじに縫って着ていました。嫁いだ当初は「お金さえ出せば買えるのに……」と内心批判めいた気持もしました。忙しい時など、わずらわしさに、いやいや従っていたものでした。

家計をまかされるようになって、ようやく自分の愚かさに気が付いたものでした。

ほどいたひもをじょうずに輪にする娘を、うれしく眺めながら、遠い昔を思い出したものでした。

（「ゆずりは」ご希望の方は、公民館へ一冊三百円）

※　※　※

住所が変ったら郵便局にも転居届を

三月から四月にかけては、就職、進学、転勤などで住所の変わる方の多い時期です。転居する場合、市町村役場へ届けを出しますが、ついうっかりしがちなのが、郵便局への「転居届」です。

郵便局へ転居届を出しておきませんと、友人や知人などから出されたお便りが、あなたのお手元へ届かない場合がありますので、必ず郵便局へ転居届を出しましょう。

郵便局では、転居届を提出されますと、旧住所と、新住所の、それぞれの配達を受け持つ郵便局で、配達名簿を修正し、転送の希望の日から一年間新しい住所へ転送します。

転居届を提出する場合、引越しなどでお忙しい場合には次の事を普通の郵便はがきにご記入の上、ポストへ入れて下さい。

1. 届出年月日
2. 届けを出す方の氏名
3. 旧住所
4. 新住所
5. 住所を変更する方の氏名
6. 郵便物の転送を開始する日

（五十五年三月号の広報部政から転載しました。）

エネルギー

期待される新しいエネルギー開発

波力発電

〝資源大国日本〟

吹きすさぶ北西の季節風。山形県鶴岡市由良沖約四㌔の実験海域に浮かぶ波力発電プイ「海明」にとっては、冬が一番の活躍どきです。強い風が吹けば高い波が立ち、それだけ大きな電力を生み出せるからです。

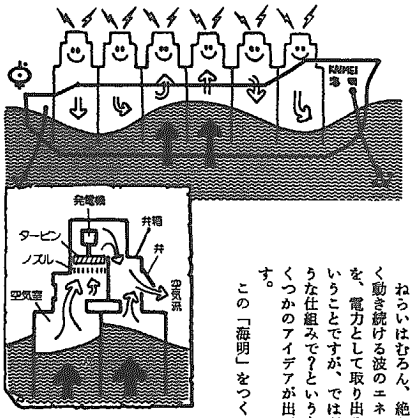
この船の形をした大型プイは長さが八十㍍、幅が十二㍍日本製のほか、英国製を含めて八基「波力発電機」が取り付けられており、ただいま競い合って性能テスト中というわけです。

ねっいはむろん、絶え間なく動き続ける波のエネルギーを、電力として取り出そうということですが、ではどのような仕組みで？というと、いくつかのアイデアが出ています。

この「海明」をつくった海洋科学技術センターの発電方式は、うねりを利用したもの仮に、桶を並べて海上に伏せて固定しておいたとします。うねりができてドーンと海水の空気はギュッと押し縮められます。桶に穴をあけておけば、そこからすごい圧力で空気が噴き出し、その勢いでタービンを回して発電すると考えればよいでしょう。

このほか、打ち寄せる荒波を利用、スロープ（傾斜）状にした防波堤をのし上がってきた海水を内側のダムにためこの海水を、もっと低いところへ落して水車を回す発電方式とか、イカダをつなげて浮かべ、波でさしむたびに連結部の油圧装置が動いて発電する方式など、さまざまな工夫が進められています。この波力発電は、波のエネルギーを抜き取るわけですから、消波効果もあります。沿岸部を高波による被害から守ったり、外洋の養魚施設（いけす）を保護したりする役目もしますので、一石二鳥です。

季節、海域により波力に差があります、日本の海岸線約五、〇〇〇㌔にわたって波力エネルギーを利用したとすれば、五千万㌔ワットとの試算値もあります。海のエネルギー利用に関しては資源大国といえるでしょう。



国勢調査のはなし

昭和五十五年――ことしの十月一日には、全国いっせいに国勢調査が行われます。

国勢調査は、国内に住んでいるすべての方を対象とした国の最も基本的で大規模な統計調査です。大正九年、「文明国への仲間入り」を合言葉に初めて実施されて以来、五年ごとに行われ、ことしの調査は十三回目に当たります。

全国で約七十五万人の調査員が四千五百万枚の調査票を全世帯に配布しご記入願う。というこの国をあげての一大統計調査によって、人口や世帯数はもちろん、年齢別、配偶者別、産業別、職業別にみた人口構成や世帯構成なども明らかにされます。

その結果は、都道府県や市町村別にまとめられ、行政をはじめ広い分野にわたって活用されます。

アイのシグナル贈呈される

このほど亀田ライオンズクラブより盲人用合図器「アイのシグナル」が、盲人者に贈呈されました。

このシグナルは視力障害の方々に外出先で、タクシーを止めたい時、横断歩道を渡りたい時、バス等の乗降時、道を尋ねたい時など、周囲の人々の協力を得たい時の積極的な意思を表示の手印として使っていただくものです。このシグナルは信号音「ピョピョ」と音が出ます。

住民の皆さん、これ等の方々に出合った時は手をかし、愛の援助をお願いします。そして眼の不自由な方々の事故を防ぐようご協力をお願いします。

およろこび

（1月の結婚）

新郎新婦　地区
仮野　明　吉　新本木上
「黒田」加代子　新津市

横越村の人口

（55年1月末現在）

総人口8,588　うち男4,179　女4,409

世帯数 1,913世帯

1月の動き　出生 8　死亡 9　転入18　転出15

おめでた

（1月の出生）

新生児　親名　地区
原　佳奈子　恵一　二本木下
阿部　栄子　力　横越下
鈴木　学　克也　小杉下
島原　裕之　誠　沢海中
佐藤　広樹　舞英　沢海中
石附　ゆう　和彦　二本木中
丸山　知巳　仁吉　川根谷内
丸藤　修子　孝　川根谷内

おくやみ

（1月の死亡）

故人　年令　地区
豊崎市次郎　85　小杉中
飛間　勝平　84　小杉上
佐藤　豊吉　76　横越上
村木　ヤス　82　二本木下
駒沢惣三郎　77　木津下
村木彦四郎　84　二本木下
鈴木　政司　51　小杉中
石井　テウ　88　木津上
市村　助正　82　横越下

3月保健衛生業務予定

日	曜	時間	内容	対象者	会場	対象
18日	火	午後1.30～2.30	乳児検診	昭和54年3月・8月・12月生	横越村公民館	全村
24日	月	午後6.30受付	新婚学級	1年未満の新婚者及び婚約者	〃	〃
26日	水	午前9.30開始	離乳食講習会	昭和54年10月・11月生	〃	〃